



ノートテイク
- 情報保障を考える -

千葉大学 ノートテイク会活動紹介

千葉大学 障害学生支援室長

准教授 堀内靖雄

(融合科学研究科 / 工学部)

ノートテイクとは？

講義ノートを作る作業ではありません

- 聴覚障害学生の授業履修をサポート
- 音（教員の声など）を文字にして伝える
- 支援学生は自分の授業の空きコマを使い、2人～4人で支援



ノートテイクの種類

- 手書きノートテイク
 - となりに座り、教員の声を要約して手書きで記入
 - 2割程度の情報保障
- パソコンノートテイク
 - 2人～3人で連携して、教員の声をパソコンで入力
 - 8割程度の情報保障

最近パソコンテイクが主流



連携入力とは

というのは世界的に
ングで、日本は2008

再ワ

2008ねん



千葉大学ノートテイク会

これまでの変遷

手話サークルの学生が自主的に活動開始

※無償ボランティア

2000年：ノートテイク会として独立

2003年：大学からの謝金支出が開始

2008年：コーディネータが非常勤職員
として配置される（学生兼務）

2015年：専任のコーディネータが配置

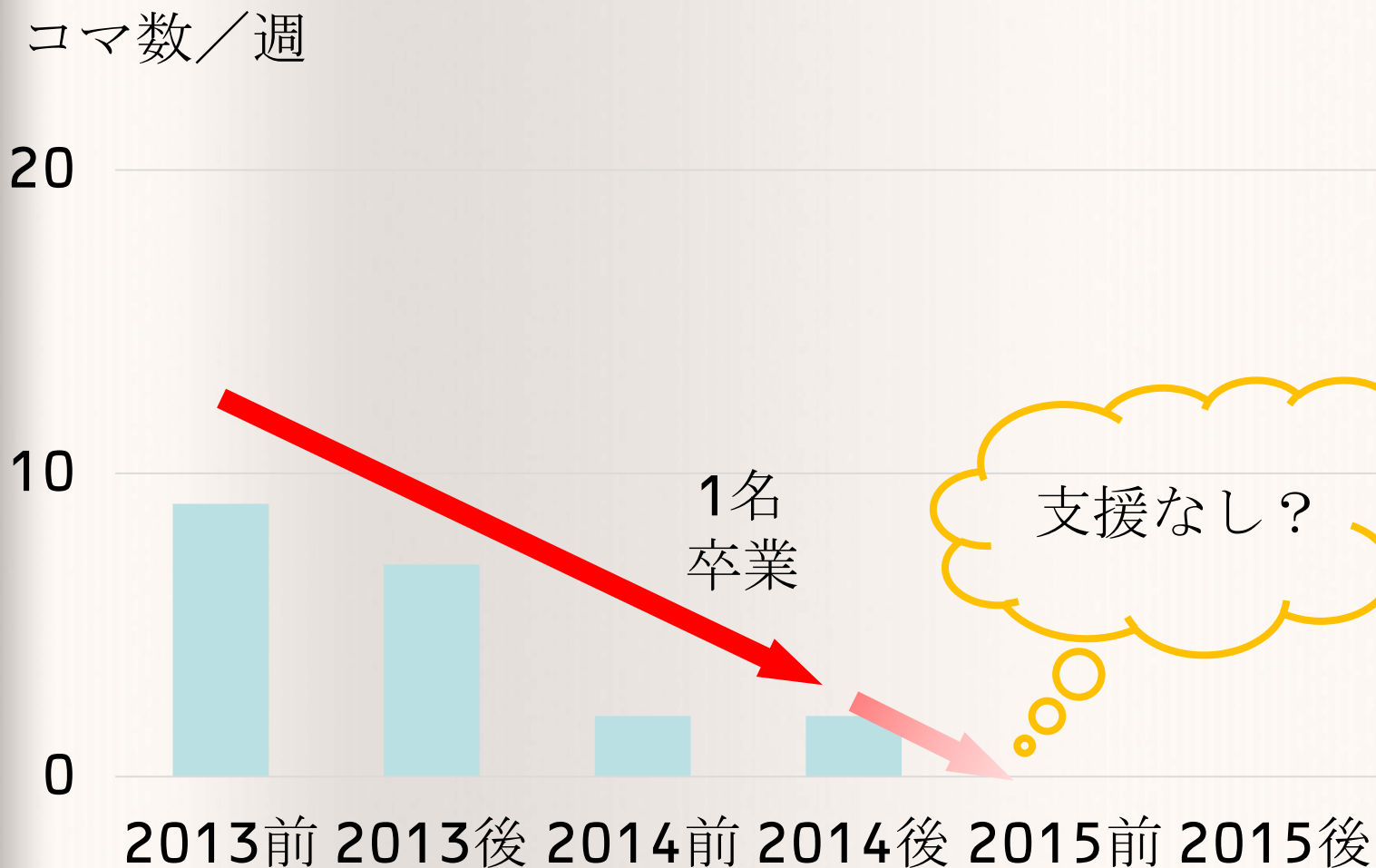


活動内容

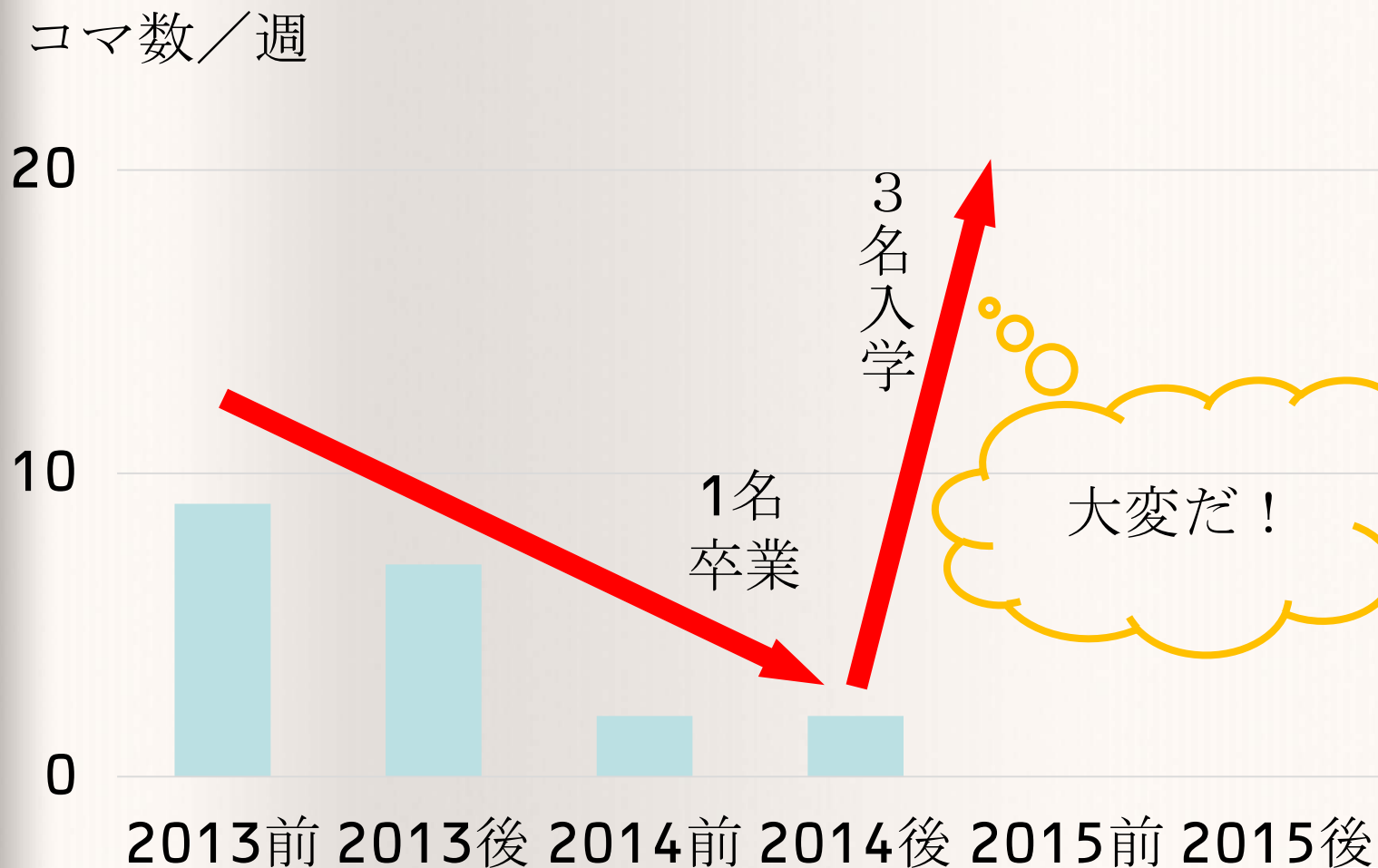
- 大学の業務（有償ボランティア）
 - 聴覚障害学生のノートテイク
 - 入学式などの式典のリアルタイム字幕
 - オープンキャンパスでのノートテイク
- 学生の自主的な活動（課外活動）
 - 練習会（ノートテイクスキル向上）
 - 研修会（勉強会）
 - 技術研修会（PCやネットワーク関連）
 - 食事会・飲み会などの人的交流



支援コマ数の変動



支援コマ数の変動

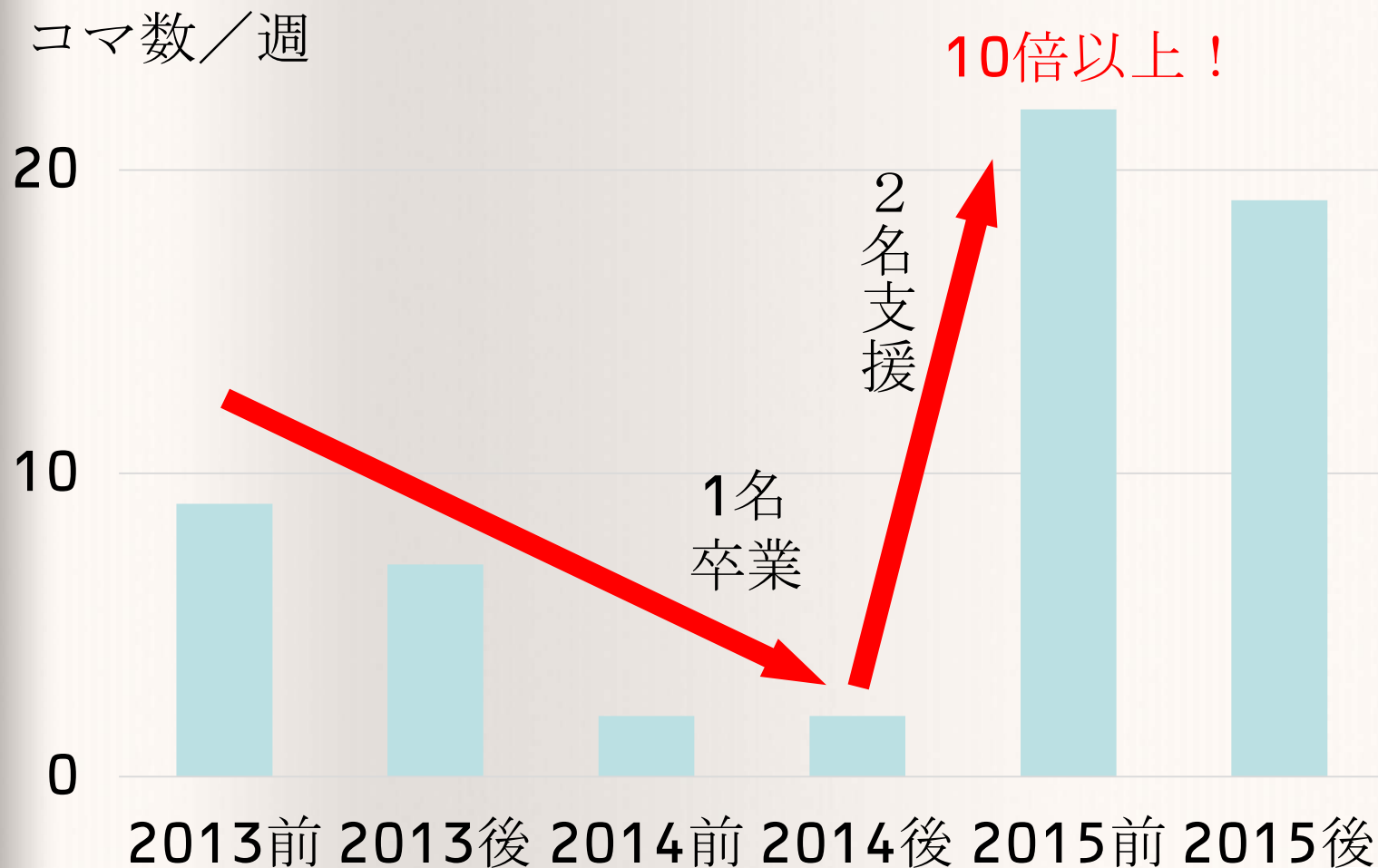


支援体制の構築

- 合格手続き後、すぐに学生と面談
学科教員も含め、全学体制で対応
- 合理的配慮の相談
 - 3名中2名がノートテイクを希望



支援コマ数の変動



ノートテイク体制強化

「どうやったら支援できるのか？」

ノートテイク会幹部と決起集会



「やるっきゃない！」



ノートテイカーの負担低減



学生の多大な努力により支援達成！

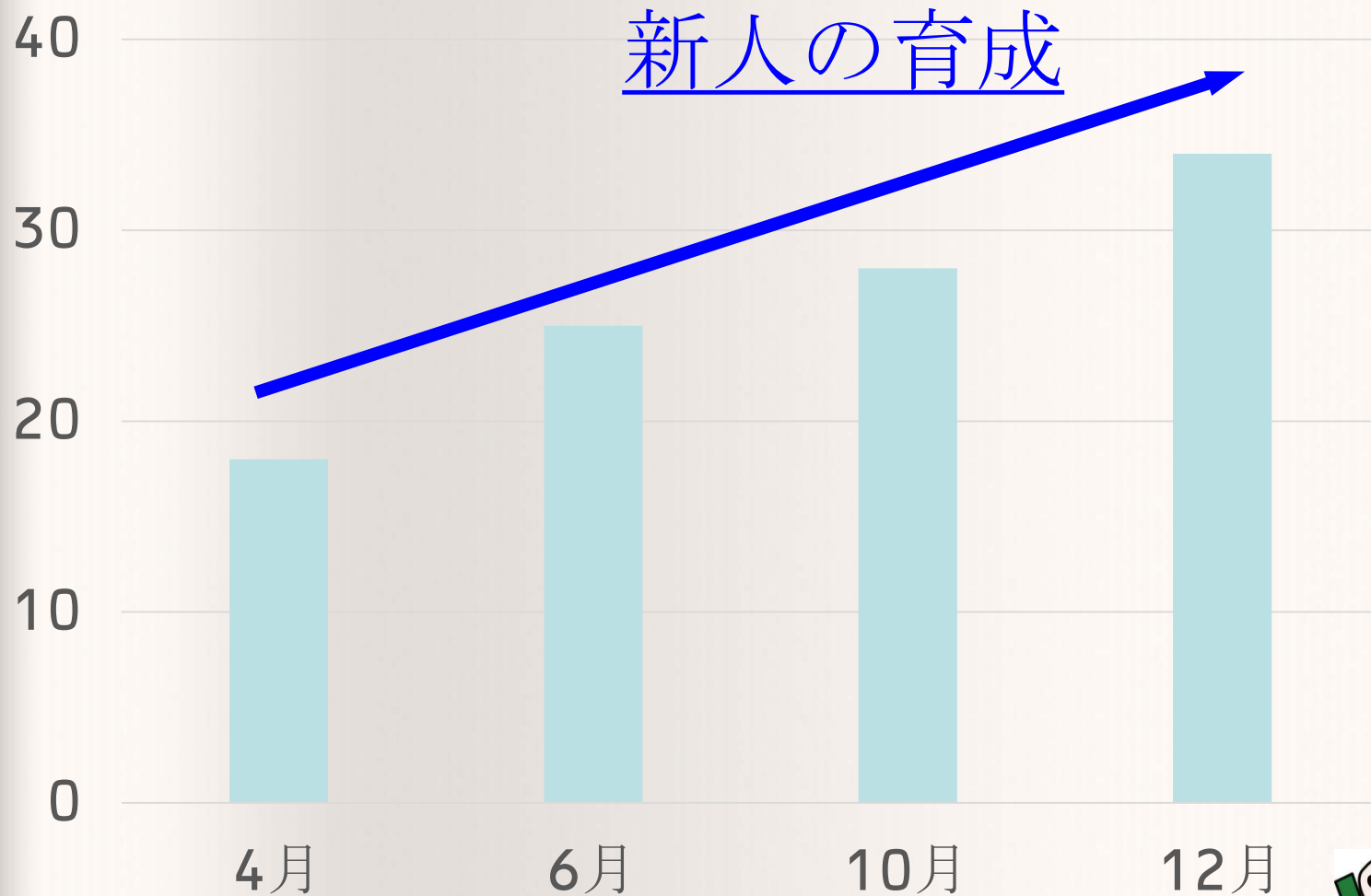


新人テイカーの育成

- 短期間でのテイカーデビューを目指す
練習会や空き時間での指導
 - タイピングスキル
 - 連携入力
- テイカー検定の実施
 - テイカーデビューの条件
 - 目標設定によるモチベーション



ノートテイカー倍増計画



2015年度の実績

- ほぼ**100%**のテイカー派遣（西千葉）
（松戸は教員の配慮で対応）
- ノートテイカーの育成
2人の学生支援に十分な人材を確保

実績達成の要因

- 学生の覚悟と努力
- 育成・検定環境の整備
- 運が良かった



今後の課題

- 松戸キャンパスでの支援体制構築
 - 松戸支部の創設
 - 遠隔情報支援の検討
- 新入生の数は????

やるっきゃない!
(法律的にも)

